



広報

ひだ

町木



第20号

肥田町
郷づくり委員会
H13.4.5発行

住み良い肥田町を目指して

自治会長 元持 四郎

この度、私、21世紀最初の年に自治会会長の任を務めることとなり、その重責に大変緊張しております。微力な私ではございますが、常に明るく元氣のある肥田町への情熱を燃やして努めて参りたいと思っておりますので、町民皆様のご支援の程何とぞよろしくお願い申し上げます。

思いますに、世の中、今日は20世紀からの積み残しの色々

な課題を引きづっています。私達の町も同様に、少子高齢化社会にあつて、相互のふれあい、問題、自然保護、環境問題、町の文化の伝承等そして肥田町の将来を見据えた新しい農業の在り方への取組みと、今先送りの出来ない課題を抱えています。農業問題については、昨年からは郷づくり委員会の方で彦根市の関係部門、愛西改良区への折衝、加えて近隣の町村の

体験など知識を重ねた上での方策を提案いただき、本年年初には皆様方にその方向へのご理解と確認までは到達いたできました。これからは新しく推進のための委員会を設けて具体的な検討に入るところです。今世紀は、何事も町は自らが守る気持ちで大切に力を合わせて一歩ずつ進める時だと思えます。新しい自治会役員一同も心をひとつにして頑張りますので、町民皆様の一層のご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

彦根市新世紀まちづくり事業に参加 肥田町まちづくり事業計画

「自然と人間と歴史の 共生するまちづくり」採択される

この度、彦根市では21世紀を迎えまして、各地域において取り組まれている自然保護や文化活動を支援しようと、新世紀まちづくり事業プロジェクトへの参加募集がありました。肥田町郷づくり委員会としては、平成7年の肥田町史編纂を契機とし、この恵まれた自然と歴史に育まれた肥田町の幾多の歴史的所産に改めて光を当て、その歴史スポットを連結した形のロマンロードを整備し、肥田町独自の個性を広く町の人々や、次の世代へと伝え継いでいきたいとの願いから「自然と人間と歴史の共生するまちづくり」計画書を彦根市に提案し審査の上、採択をいただきました。

この計画は、既に昨年度に自治会にも提案し理解を願ったものです。ここに市のご支援も決まりましたので、早速に本年度より、町として力を合わせて取り組んで参りたく存じますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

郷づくり委員会

ご入学おめでとう

平成13年度

うれしい ビカビカの1年生



薩摩 ゆみか ちゃん
(お父さんは卓志さん)

かわいいお花やさん



鹿島 沙織 ちゃん
(お父さんは能孝さん)

パンやさん
ブドウパンがつくりたいです。



青木 裕介 君
(お父さんは洋さん)

町の消防士さん



辻野 佐季子 ちゃん
(お父さんは賢治さん)

きれいなケーキ屋さん



薩摩 和宏 君
(お父さんは敬造さん)

たのしいおもちゃ屋さん

大きくなったら
何になりたい？



みなさんの元気いっぱいの成長を祈ってます

お誕生おめでとう

なまえ

筒井京紀くん

生年月日

H13・2・17

父の名

隆 智さん

母の名

智恵子さん

健康な成長を祈っております。

お詫びと訂正

前号の還暦の欄に伊関美代子さんが掲載されていまして、訂正いたします。

おめでとございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

「さくら公園」を里地の公園へ 夢を託して14種76本の植樹を行う

この度彦根市新世紀まちづくり事業計画に肥田町の提案が採択されて、その最初の行事として、早速にさくら公園での植樹が3月11日(日)に実施されました。

私たちは、人と自然、生き物が共存して私達の成長を力強く育ててくれたあの「里地」の温もりを、今の子供たちに伝え、これからも感受性の豊かな人間に育って欲しいとの願いから「さくら公園」を里地公園へと再生を考えました。今回の植樹につきまして彦根市の公園緑地課の指導も仰ぎ、また市農政課からも特別な植樹苗の支援をいただいております。

3月11日の植樹の日は、寒い風の中にも春の芽生えを感じさせる公園で、自治会、郷づくり委員会、福寿会、子供会の役員、子供会の25名の子供たちも加わり、全員の55名が作業に参加し、夢を託して汗を流しました。特に大きく育つ樹の一本一本の苗木に子供ひとりひとりの氏名札を結びつけて、これからも一緒に健やかな成長への願いを、夢を懸けました。



〈緑 風〉

滋賀県のこんな会社を
ご存知ですか

山 岸 健 二

幼少から高校を卒業までは肥田で遊び遊んだ私は、大学は大阪大学へ、社会人としては三井物産に入社、以来商社の生活32年の内、海外生活約16年、東京と大阪の生活も16年となり、ふるさとの滋賀県にはすつかりと御無沙汰になりました。

仕事の上でも関西弁を話し、英語までも関西なまり丸出しであつた私は、やはり何かの御縁とでも申しますかサラリーマン生活の集大成も、今、滋賀県で過ごさせてもらっています。現在勤めています会社は、甲賀郡水口町に本社と工場がある安全索道株式会社(通称は安索)で、三井物産の関係会社、私が関西弁でそして滋賀県の出身と言うことで、この会社の経営を任された次第です。

1997年6月より草津に住まいしながら、厳しい時代環境の中で頑張っています。この会社は、索道の日本の草分けとして85年前に設立され、当初は本社、工場も大阪の関内にありましたが、25年前に現在の水口工業団地に移り現在に至って

います。

皆様は索道という言葉をご存知ですか。レールの上で人や物を運ぶ鉄道ですが、ロープを利用して人、物を運ぶのが索道と呼ばれます。当社は、索道の設計から製造、建設の請負業者ですが、現在の市場は観光地のロープウェイ、スキー場のゴンドラやリフトの建設と保守が主な業務です。当社の業界でのシェアは稼働中のロープウェイ(90箇所)の半分。全国のスキー場のゴンドラとリフトの30%を占めています。北海道函館の夜景を見るロープウェイを始め、蔵王、谷川岳、穂高、中央アルプス、宮島、長崎、雲仙などのロープウェイも当社で、またスキー場2000ヶ所以上でゴンドラ、リフトでも活躍しています。

ご説明しましたように、皆さんも身近な良い産業ですが、昨今の不況続き、暖冬のスキー場の雪不足続き等と厳しい波にも洗われていますところ。安全索道は、滋賀県にある特殊な業種、でも皆様のレジャーに密接な会社です。是非とも健康のためにどんどんと山歩き、夏山の観光に、冬はスキーにと当社の設備をご利用いただき、お金もしっかりと落としてください。そして「安索」のマークがお目に止まりましたら、「肥田出身の健ちゃん」が頑張っているのだと思ひ出して頂ければ誠に幸せです。また草津近くにお出かけの折には、お電話下さい。一献交歓、日頃の疎遠をうずめさせていたたく、楽しみにお待ちしております。

TEL 自宅 077-565-6516
会社 074-862-8001

新世紀講演会「幸せについて」開催

「町づくりは人づくりから」を基調として、2月4日の自治会総会の日に、記念講演会を開きました。講師には来迎寺御老陰山脇秀侯先生をお迎えし、82歳とは到底思えぬ迫力に溢れた講話をいただきました。

一言で申すならば、毎日を忙しいとばかり言っている私達が、ふと足を止め厳かな山、清らかな川と相対したような風景に出会い、改めて自分の足元を見つめ直す時間をもらったように思いました。

世の中のつながりの基は家族にあり、家族のふれあいに幸せの入り口がある。今の時代はそのためにも、父親が、母親がしっかりと我が子に、心は優しく、しかし姿勢は強く厳しく臨むことだと、リーダーシップの心構えを色々と数多くの「言葉の札」をつないでの説法でした。「人生は、山の峠道、上りのあとは下り坂、人の定めも峠道、上り下りがあってこそ、人の命に味がある。難儀もお陰とかみしめて、峠、峠と越えて行く」と結ばれました。

郷づくり委員会



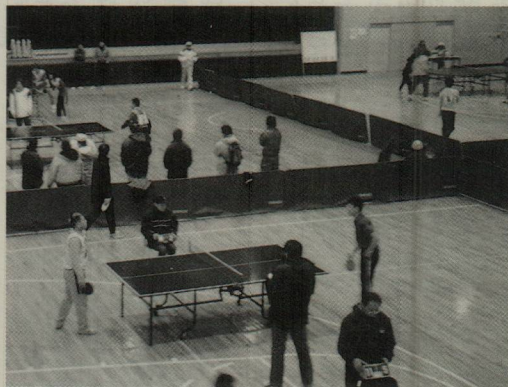
新春

稲枝地区卓球大会開催 スポーツシーズン間近か

恒例の新年皮切りの稲枝地区卓球大会が1月6日中学校体育館で開かれました。

肥田町自治会からは、ベストメンバーである成宮敏和、成宮好美、大村敏男、薩摩はるみ、大家勝治、伊関正人、宮川真由美、元持光正さんが出場、しかし日頃の実力発揮とまていかず善戦健闘の末、普光寺に敗れました。同じAゾーンの優勝は本庄町でした。声援がもう少しあったらと残念でした。これから始まる地区のスポーツ大会には、町民皆様の更なる暖かい応援のほどよろしくお願い申し上げます。

自治会体育部
西田 幹雄



「おふくろの味」を募集いたします



近頃の御家族での食生活は容易に何でも揃いますが、それだけにまた、あの心の暖まるおふくろの味に出会ったときの嬉しさは格別です。皆様の御家庭で先代からも受け継がれた味付けの料理、またご家族が今おいしいと喜ばれているお母さんの料理等、嬉しいことを分けてもらいませんか。ご連絡をお待ちしています。伺います。

●有線5722まで

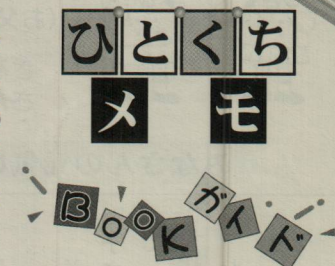
20世紀末のどんより曇った日本の空を突き破る陽光を放ってくれたあのシドニーオリンピックの華、高橋尚子選手の激走ぶりは、私達みんなに元気を与えてくれ、感動しました。彼女自身が書いたこの本を読んでみますと、今の時代、いや何時の時代にも通じるこ受けとめられる子ども育てのヒントも沢山含まれていると思いました。



「チーズはどこへ消えた？」
スペンサー・ジョンソン
ベストセラーが続いている一冊です。童話風の物語の中に、今の社会を生きていく上で、自分を変えてみる勇気を問う楽しく読みやすい本です。お薦めのもつ一冊。

「風になった目」

高橋 尚子



本当の愛情とは何だろう、親の我慢と子の我慢、耐えるつらさを楽しさに換える勇気等、大人や中学生位でも読み易く、家族で一緒に話し合える時間がつくれるのではないかと思います。お薦めできる一冊。